

別記様式第 2 号

会議の概要報告

会議の名称	佐野市子ども・子育て会議
1 開催日時	令和 6 年 7 月 31 日（水） 10 時 00 分～12 時 00 分
2 開催場所	佐野市役所大会議室 D
3 委員等の人数	1 9 人
4 出席委員等の人数	1 1 人
5 議題	①令和 5 年度第 2 期佐野市子ども・子育て支援事業計画の実績報告における点検・評価結果について ②「佐野市こども計画」構成（案）について
6 会議の公開・ 非公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	0 人
8 会議資料の名称	【資料 1】令和 5 年度第 2 期佐野市子ども・子育て支援事業計画の実績報告における点検・評価結果について 【資料 2】「佐野市こども計画」構成（案）
9 会議の概要 （発言の要旨）	① 令和 5 年度の実績報告について説明。 （意見） 時間外保育事業について、公立保育園 2 園・民間保育所 9 園、認定こども園が 2 園で少し公立保育園が少ないと思う。公立、私立がともに頑張っていくことが必要だと思う。 （回答） 現在、市内保育施設は 40 施設ある。公立保育園も昔 15 施設あった時代から比べると、7 施設になり、伊勢山保育園は基幹保育園という位置づけではなくて、段階的に閉園に向けて調整をしている。40 分の 7 が公立保育園と考えると、そこまでバランスを変えていくことではないのかなと思っている。しかしながら、保護者ニーズを把握した中で、公立と民間のバランスを崩さないよう、今後の検討課題とさせていただく。

(意見)

令和 10 年に西中学校が義務教育学校になって、学童保育はどうなる予定なのか、現段階で計画があったら教えて欲しい。

(回答)

西中学区のこどもクラブは、現段階では、中学校の敷地内に新しいこどもクラブを作る計画となっている。それに伴い閉所となるクラブもある。

【議題 2 佐野市こども計画の構成（案）について】

計画の構成（案）について、

第 1 章 計画の策定にあたって（＝導入）

第 2 章 データ分析

第 3 章 計画の基本的な考え方

第 4 章 こどもまんなか社会の実現に向けた取組

取組 1 「子ども・子育て支援施策の取組」

取組 2 「こどもまんなか社会実現に向けた取組」

※栃木県が示している「栃木県こども計画骨子案」を踏まえて、施策の基本的方向性・施策体系を示す予定。

（１）こども・若者の心身の健やかな成長を支える環境の整備

（２）若者の将来の希望を叶える取組

（３）困難を抱えるこども・若者への支援

（４）喜びのある子育てにつながる支援

（５）困難を抱える家庭への支援

（６）結婚応援、子育て支援に取り組む機運の醸成

（７）安全・安心な生活環境の整備

（８）地域全体でのこども、子育ての支援促進

第 5 章 計画の推進体制

として検討していきたい旨説明。

(意見)

① 学校関係で関わっているが、母子家庭などをフォローする体制がやはり必要。家庭を守るために働く、働いていると子供と接する時間がない、お金も大変である。そうすると学校の出席も若干滞ってしまうという悪循環に陥る可能性を非常にはらんでいるというところもあるので、そういうところも含めて計画を作って欲しい。

② 少子化の話があったが、結婚に限らずいろいろな機運

の醸成はすごく大切。金銭的な支援（児童手当など）もそうだが、大変だと思うが、「こどもがいることが町にとって嬉しいんだ」ということを保護者に伝えるようにしてほしい。育児休暇の話にしても、地方都市の中小企業で働いていて、育児休暇を取得していいのですかというのは、まだまだ言い出しづらいものがあると思っている。可能であれば佐野市はそれをやっていい町ですというくらいのことを書いてもらえると、子育て世代としてすごく重い言葉として考えられる。

- ③ 高校生に関しての部分は少し曖昧な気がする。高校生は、自由に自分でいろんな場所に行けたりもするけれど、まだこどもの部分もあって、もちろん 18 歳までは「こども」という流れで入ってくると思うんですが、高校生が安心安全に集えるような場所がもっと増えてほしいと思う。外に、いつでもみんなが行ける場所、いつでも誰でも行けるような、中高生年代が集える場所が増えていくようにしてほしい。
- ④ 居場所対策として、運営しているこどもクラブには、部活が中止になったら、卒業生が来てくれることが非常に多くて、お昼を食べて、また小さい子たちと遊んでくれるので楽しく過ごしているようで、こういった場所も居場所の 1 つとして考えていく必要があると思う。
- ⑤ 1 号認定については、これだけ少子化が進んでいると、供給過剰になっている。この計画を立てるにしても受け皿を増やすではなく、トータル的に見てこの街で安心してこどもを産んで、こどもを育てられて保育教育を受けられるという。そんな趣旨のところにも特化していかないと、佐野という街がゴーストタウンになっていく可能性もあると思っている。海外では、お金を出すだけではなく、親たちが自分事として、保護者として自立できるような支援が大切ということで取り組んでいる。
- ⑥ 6 月の出生率が 40 人ということで、私はこの 40 人が 5 年後 10 年後に、死なないで生きているのかということ

が私の中であって、本当にこどもの自殺が信じられな
いくらい増えている。5年10年前の倍以上の数になっ
ていて、全国で1000人単位で亡くなってるっていう
ような状況を考えると、すごく悲しい事実だって思っ
ている。できればこの計画の中に、こどもの自殺対策の要
素を入れてほしい。行政的に考えると、自殺対策につい
て記載していくことは、すごく大変だとは思いますが、そこ
は踏み込まなくてはいけない時代になってきていると思
う。あともう一点、結婚応援について、結婚したいと思
わないか、子育てしたくないかと聞くと、子育てはした
いけど、結婚は別にしたいと思わないでいる人が多い
ように感じる。適齢期なんだから絶対結婚しなきゃ
いけないっていう考えは捨てて、結婚したら子供が絶
対生まれるということはなくなってきていると思う。
個人の事情もあるし、金銭的な面もある。結婚適齢期の
年齢の人たちが結婚を考えられない本当の理由って
いうのを探してほしい。

⑦ 少子化というのは本当にすごく危機的な問題なんだろ
うなと思う。一言には言えないと思うが、若い人たちに
こどもを育てることが楽しい、こどもを育てることの
プラスの面を、教育などの中で早いうちから自然な形
でイメージできるような取組が必要になるのかなと思
う。少子化問題は、こどもや保育だけじゃなく、経済や
政治、産業など、社会全体で考えないとなかなか解決
しないのかなと思う。こどもの健やかな成長というこ
との中でも、子育て中のお父さんお母さんもすごく悩
んでいると思う。その声を聞いてあげて答えてあげられ
るような体制、今は、学校で先生に話を聞いていただ
いたりとかしてることもあると思うが、機会も少ないと
思うので、そういう家庭のお父さんお母さんを支えら
れる仕組みが組み込まれるといいなと思う。

⑧ こどもの街宣言をした佐野市だから、子育てのまち宣
言というのもいいかなと思っている。子育てのまち、こ
どもの街という感覚は、もう当たり前のようになって
くる。お金を配るだけじゃなく、安くするだけじゃな
く、様々なことを一生懸命知恵を絞って考えていか
ないと、市がなくなってしまうと思っている。そのあたり

	を考えて、しっかり実現に向けて取り組んでいくことが、この会の役割だと考えている。 (回答) いただいたご意見を踏まえ、計画内容の検討をする旨説明。
10 その他	